

奄美海上保安部便り 第 76 号

- ・ 第 76 号は 2025 年 6 月から 2025 年 8 月までの活動状況などを掲載しております。
- ・ 奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



巡視船「あまみ」見学会

8 月 9 日 0930 から 1230 まで、奄美海上保安部に新たに配属（R7.3.24 配属）となった巡視船「あまみ」の見学会を開催しました。暑い中にも関わらず、約 600 名にお越しいただき、楽しんでいただきました。



本号でも引続き、「目指せ、海上保安官！」のコーナーに、海上保安官からのメッセージを掲載していますので、「海上保安大学校」、「海上保安学校」へ入学を希望される受験生は是非参考にしてください。

お問い合わせ先 奄美海上保安部 管理課
TEL 0997-52-5811



©JCGF

<制服試着コーナー>



<巡視船「かいもん」による不審船制圧訓練>



<鹿児島航空基地所属航空機のローパス>



◇「海の日」に伴う海事功労者の表彰

ヘリ甲板上において、永年、海上保安協力員として尽力されている「前田啓一」氏に対し、「海の日」に伴う海事功労者として第十管区海上保安本部長からの感謝状を奄美海上保安部長から伝達しました。



「海洋環境保全推進月間」（5月30日～6月30日）の活動状況

◇円小学校との海岸清掃

6月14日、円の海岸（龍郷町）において、龍郷町立円小学校の児童、教職員及び地元住民29名で清掃を行い、396.7kgのごみを回収しました。

清掃の前に、警備救難課職員による「プラスチックごみの発生防止に関する注意」など海洋環境保全の講習と交通課職員による「海で遊ぶ際の注意点」について講習を行いました。



◇ショップ、事業者への啓発活動

古仁屋海上保安署では、海洋環境保全推進月間にあわせ、管内マリンレジャーショップ、給油業者等に対し、ポスター掲示依頼や啓発活動を実施しました。

マリンレジャーショップへポスター配布



給油業者への啓発



「海洋環境保全推進月間」 ～「未来に残そう青い海」～

海上保安庁では、毎年5月30日（金）から6月30日（月）までを「海洋環境保全推進月間」と定め、「未来に残そう青い海」をスローガンに、海事関係者等や若年層を含む一般市民に対して、海洋環境保全に関する指導や啓発活動を実施しています。

✚ 台風海難防止強調運動（6月21日～6月30日）

台風の襲来時期を迎え、万全の対応ができるよう、次のとおり、台風海難防止強調運動を実施しました。

◇名瀬港台風津波等対策委員会総会の開催～台風シーズン中の事故ゼロを目指して～

6月20日、名瀬第二地方合同庁舎において、名瀬港台風津波等対策委員会総会を開催しました。



名瀬測候所統括予報官による講話

◇啓発活動 その1

6月13日、18日、管内海運代理店、商業施設、釣具店及び名瀬港入港船舶等関係者に対して、ポスター及びリーフレットを配布し、船舶乗組員や来店者への台風による海難防止の呼びかけを行いました。



◇啓発活動 その2 ～ 台風がしった来るかもどおー！ ～

古仁屋保安署管轄内では、昨年度、台風避泊中の船舶が『走錨』し、衝突や乗揚げ事故が発生していることから、船舶所有者、客運送事業者、作業船、養殖事業者等に対して、リーフレットなどを配布のうえ対策の徹底を依頼しました。

乗員の目につく場所に掲示して気付くようや！



養殖施設や所有船舶の流出に気を付けます！



瀬戸内消防分署との合同救難訓練

6月12日、古仁屋港内において、相互の連携強化および対応能力の向上を目的として、瀬戸内消防分署と保安署及び巡視艇「いそなみ」職員による合同訓練を実施しました。

監視取締艇「ぱるさあ」（海保）から救急艇「おおとり」（消防）への要救助者引渡し訓練のほか、大島海峡内で錨泊している船舶の急患対応を想定した訓練を行いました。



奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会会員との合同訓練

6月19日、本格的な夏のマリンレジャーシーズンを前に、名瀬第二地方合同庁舎3階会議室において、奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会会員との合同訓練を実施しました。一次救命処置（心肺蘇生法）についての座学と実技を行い、事故が発生した場合の対応について確認しました。



✚ 竹山建設(株)・竹栄会合同安全大会における海難防止講習

6月20日、龍郷町体育文化センターりゅうゆう館文化ホールにおいて、竹山建設(株)・竹栄会合同安全大会（参加者：150名）が開催され、その中で、交通課職員による海難防止講習を行ない、港湾工事中の作業船の事故や作業中の人身事故根絶を呼びかけました。



✚ 海上安全指導員連絡会

6月25日、名瀬第二地方合同庁舎3階会議室において、令和7年度海上安全指導員連絡会議（指導員9人中6人参加）を開催しました。



✚ さたぜえないとふえすていバル～学生募集活動～

6月29日、2年ぶりの開催となった奄美最大の繁華街「屋仁川通り」のイベント「さたぜえないとふえすていバル」に奄美海上保安部の精鋭達が参加しました。特設ステージにおいて、海上保安庁の制服紹介や、うみまる＆うーみんによるクイズ大会、オカヤドカリ等の密漁防止を呼びかける寸劇を実施し、海上保安庁を広くアピールするとともに学生募集も行いました。



2025 奄美シーカヤックマラソン in 加計呂麻大会 海上警戒

7月6日、古仁屋港付近一帯において「2025 奄美シーカヤックマラソン」が開催されました。本大会は33回目を迎え、244艇（393名、最年少7歳、年長84歳）が参加し、古仁屋海上保安署SS艇「ぱるさあ」にて海上警戒を実施しました。



薬物乱用防止教室 in 奄美市立宇宿小学校

6月25日、奄美市立宇宿小学校において、警備救難課職員による薬物乱用防止教室を行い、薬物の種類や薬物が身体に与える影響等について講話を行いました。



海上安全教室実施状況

夏季のマリンレジャーシーズンを迎え、各地で海上安全教室を行いました。

◇伊子茂、諸鈍小学生への海上安全教室

6月2日、5日、加計呂麻島において、伊子茂小中学校（児童、生徒30名）、諸鈍小中学校（児童、生徒23名）に対して、海上安全教室を実施し、併せて将来の人材確保のため当庁の業務紹介等を行いました。



◇市中学校で海上安全教室

6月27日、奄美市立市中学校（奄美市住用町）において、生徒、保護者、先生方に対して海上安全教室を行いました。



◇節田小学校で海上安全教室

7月2日、節田小学校において、保護者の参加する「学校保健委員会」の中で海上安全教室を行いました。



◇大和小学校「水難事故防止教室」

7月12日、大和村営プールにおいて、大和小学校の土曜授業として「水難事故防止教室」が開催され、奄美海上保安部交通課職員が講師として参加しました。

(児童 31 名、先生 7 名)



◇マリンフェスタ海上安全教室

7月19日、奄美市朝仁海岸において、県立奄美少年自然の家主催の「マリンフェスタ」が開催され、参加者（親子等 34 組 120 名）に対し、海上安全教室を実施しました。



◇放課後デイサービスヒマワリ就学塾での海上安全教室

8月4日、放課後デイサービスヒマワリ就学塾（奄美市長浜）において、小学生から高校生の生徒(27 人) 及び先生(12 人)を対象に海上安全教室を実施しました。



海の事故ゼロキャンペーン（7月16日～7月31日）

◇関係機関への呼びかけ

7月11日、16日、管内の各自治体や海事関係者等へ事故防止に関する呼びかけの協力依頼及びポスター掲示を依頼しました。



◇奄美空港で合同啓発活動

7月26日、奄美空港到着ロビーにおいて、警察と合同で、羽田空港から到着した観光客に対しリーフレット等を配付し、「海の事故ゼロ」を呼びかけました。



◇海の事故ゼロキャンペーン安全推進活動 in 初☆与論空港

8月2日、与論空港到着ロビーにおいて、沖永良部警察署与論幹部派出所、沖永良部島消防署与論分遣所と合同で、到着した観光客に対してリーフレット等を配付し、「海の事故ゼロ」を呼びかけました。



✚ ハブ講習会 ～新庁舎で合同講習会！～

7月24日、名瀬第二地方合同庁舎において、名瀬保健所職員を講師に招き、入居官署合同（財務、測候所、海保）で、奄美に生息する毒蛇「ハブ」の生態や安全な対処法を学ぶための「ハブ講習会」を実施しました。



ハブ捕獲実習

✚ 台風接近に伴う安全指導 ～走錨注意のお願い！～

7月24日からの台風7号及び8号接近に伴い、古仁屋港周辺海域に500トン前後の作業船等が計25隻と多数避泊していたことから、古仁屋海上保安署巡視艇「いそなみ」とメール等により運航者に対して「走錨防止にかかる注意喚起」を行いました。



✚ 職場体験学習 ～未来の海上保安官来る～

7月10日、奄美市立朝日中学校3年生（男子2名）に対して職場体験を実施しました。



鑑識体験



ライフゼム装着体験



大山崎灯台見学

奄美市笠利地区総合防災訓練

8月24日、奄美市笠利地区（太陽が丘総合運動公園をメイン会場）において、各関係機関が参加し「奄美市総合防災訓練」が開催されました。奄美海上保安部のブースでは、当庁の災害時の対応状況等のパネルの展示を行いました。

航空自衛隊によるホイスト訓練



消防による倒壊家屋救出訓練



保安部展示ブース



保安部展示ブース

防災フェスタ2025～名瀬第二地方合同庁舎～

防災週間中の8月31日、名瀬第二地方合同庁舎において、入居官庁3機関合同（鹿児島財務事務所名瀬出張所、鹿児島地方気象台名瀬測候所、奄美海上保安部）で、「防災フェスタ」を開催しました。

名瀬測候所による講話や地震・津波等発生装置などの展示のほか、津波避難場所に指定されている庁舎屋上を目指す体験型クイズ「リアル脱出ゲーム」等が行われ、親子連れや友達同士など多数の住民が参加し、楽しみながら防災の知識を深めていただきました。



財務事務所による津波避難施設の説明



測候所による地震・津波発生装置の展示

リアル脱出ゲーム等の状況



当庁災害対応パネル展示



ペットボトルでうみまるうーみんを救助大作戦ゲーム

巡視船「かいもん」海面救助員訓練

6月3日、名瀬港において、警備救難課訓練指導官2名の指導のもと、巡視船「かいもん」の海面救助員3人の慣熟のため、ファイバーライトクレードルを使用した海面救助、海面結索、300メートルドルフィン等の訓練を実施しました。



ファイバーライトクレードルを使用した救助訓練



海上における結索訓練

✚ 巡視艇「いそなみ」潜水土訓練模様

7月12日、古仁屋保安署巡視艇「いそなみ」潜水土八重山官のレンジャー訓練を実施しました。



8月16日、手安ヘリポートにて、鹿児島海上保安部所属巡視船「あかつき」搭載ヘリコプターによる救助訓練（HR訓練）を実施しました。



✚ 学生募集活動 ～いも一れ 将来の海上保安官！～

将来の海上保安官を求めて、奄美群島内の各高校や生徒に対して、業務説明等を実施しています。

◇各高校訪問による募集活動

・ 6月13日 喜界高等学校 ・ 7月2日 大島高等学校

・ 7月3日 沖永良部高等学校



◇巡視船「あまみ」で海上保安業務説明会

8月9日、巡視船「あまみ」において、奄美群島内の高校生を対象とした海上保安業務説明会を実施しました。

説明会には、海上保安学校受験申込者4名も含め、高校生9人（男性5、女性4）が参加され、業務説明とともに乗組員居住室等の見学も行い、巡視船内での生活イメージを深めていただきました。



あまみエフエム（77.7MHz）に生出演



◇6月5日、交通課と警備救難課職員が「あまみエフエム」に生出演し、交通課は「台風による海難の防止」を呼びかけ、警備救難課は「海のごみ・マイクロプラスチック問題」について、注意喚起を行いました。



◇7月3日、管理課と交通課の女性職員が「あまみエフエム」に生出演し、管理課からは「海上保安官の募集案内」を行い、交通課からは「海の事故ゼロキャンペーン」について周知を行ないました。



女性職員の方が2名も来たのは初めてでした！
また来てくださいね～！

◇8月7日、管理課と警備救難課職員が「あまみエフエム」に生出演し、管理課からは8月9日開催の「巡視船あまみ一般公開」の案内を、警備救難課からは「薬物乱用防止」について啓発を行いました。



海難の発生状況

6月から8月の間、管内では4隻の船舶事故、6人の人身事故が発生しました。

◇フェリー波之上徳之島亀徳港内底触

6月9日、名瀬港を出港したフェリー波之上（乗客220名）は次寄港地である徳之島亀徳港に入港中の0903頃、南防波堤付近の消波ブロックに底触しました。同船は自力離礁し、亀徳港に入港後、運航管理者手配の民間ダイバーによる潜水調査を実施した結果、船首部船底両舷側に凹損及び擦過傷があったものの、亀裂等はなく、同調査結果を運輸局へ報告のうえ、通常運航を再開しました。乗客、乗員に怪我等はなく、油や浮遊物の流出等もありませんでした。

◇和泊町で小学生への追い込み漁業体験準備中の男性行方不明

事故者（男性、63歳）は、6月12日、和泊町ワンジョビーチ沖において、小学生の追い込み漁体験に参加し、他の作業者は事故者が先に帰ったものと認識していたところ、翌日になって行方不明となっていることが判明したもので、13日から15日1700まで、当庁の巡視船、航空機、水難救済会所属船含む延べ47隻、警察、消防、自治体、消防団による捜索を行いました。現在も行方不明となっています。



◇与論町供利漁港素潜り漁者未帰還

6月27日1635、与論町ダイビングショップ店員から「知人の71歳男性が素潜り漁から帰って来ない」との通報がありました。

情報入手後、当庁航空機及び水難救済会所属船等で捜索するも手掛かりがなく、28日、当庁航空機及び巡視船「かいもん」、巡視艇「いそなみ」潜水士、警察、消防、与論町漁協、自治体等で捜索中のところ、1240頃地元ダイバーが水深約3mの海底に事故者を発見し、その後、巡視船「かいもん」のゴムボートへ揚収され、搬送先の病院で死亡が確認されました。

事故者（71歳、男性）は普段から港近くで素潜り漁をしており、27日午前中にダイビングショップに寄ったことが確認されており、港に事故者のオートバイと携帯電話が残されていました。



◇瀬戸内町節子沖小型船機関故障

7月8日1100、事故船船長の妻から古仁屋海上保安署へ「夫の乗った船のエンジンが動かなくなりました」との通報がありました。

事故船（汽船、3.75m）の船長（51歳男性）は、一人で8日0630頃、伊須湾内の係留地を出港し、移動しながら釣り中の0800頃、船外機が一度動かなくなり、すぐに再始動できたので釣りを継続していたところ、0900頃、船外機が再度動かなくなり、その後復旧を試みるも復旧できなかったため、1000頃、妻に架電し救助を求めたものです。

1130 古仁屋海上保安署 SS 艇「ぱるさあ」が現場に向かい、1220 えい航を開始し、1300 伊須湾内の事故船係船場所に帰還させました。



◇大和村思勝港釣人行方不明

7月21日0955、警察を通じ、「47歳の男性が、19日夜大和村思勝港に釣りに行くと言って退社後から行方不明となっている」との通報がありました。

男性の勤務先の社長が、男性が21日朝出勤しなかったため、男性の弟に連絡して行方不明が判明し、その後、弟から警察に通報されたものです。

思勝港の岸壁付近に行方不明者の車が停められ、防波堤先端で、釣道具や携帯電話が発見されていました。

情報入手後、巡視船「かいもん」、巡視艇「いそなみ潜水士」、当庁航空機、水難救済会大和救難所所属船、警察、消防等による捜索を行いました。現在も行方不明となっています。



◇奄美市笠利町あやまる岬沖で帰還不能

8月1日1224、事故者から大島地区消防を経由し、「笠利のあやまる岬沖で男性1名、女性2名が溺れている」との通報がありました。

事故者3人（①54歳男性、②52歳女性、③28歳女性（ドイツ籍））は1日1200過ぎから、あやまる岬ビーチにおいて事故者①のみが救命胴衣を着用してシュノーケリングをしていましたが、しばらくして海岸に戻れなくなり、救命胴衣未着用の事故者②③は、事故者①に掴まり漂流し、近くの足がつく岩礁に流され、事故者②が防水パックに入れた携帯電話で119番通報したものです。

1300 消防団が事故者3人と会合し、1307 協力依頼した消防団の水上バイクにより救助されました。

3人は意識清明で怪我等ありませんでした。



◇住用町ターバマ沖ガット船機関故障

8月7日「奄美大島の住用町ターバマ沖に座礁船舶がいるようだ」との通報がありました。

当該船舶に無線にて確認したところ、事故船舶（ガット船、498ト）は、5日1200頃、喜界島を出港し、同日1500頃エンジンが故障し奄美大島住用町ターバマ沖にて錨泊しており、乗揚げはしていないが自力航行不可能のため業者に修理依頼を行っているとの回答を得ました。

事故船舶は、8日手配したタグボートに曳航され大島海峡に向かい、業者による応急修理し自力航行が可能となり、本格修理のため鹿児島ドックに向かいました。

◇徳之島西海岸一人乗り小型船舶未帰還

8月12日1955頃、奄美海上保安部に「小型船に乗って釣りに行った者が帰って来ない」との通報がありました。

事故船舶（73歳男性一人乗り、FRP、5.4m）は、12日1030頃、弟に徳之島松原漁港を出港する旨の連絡を最後に行方不明となっており、通報後、巡視船「かいもん」、巡視艇「いそなみ」、当庁航空機、警察、消防、天城町・徳之島町消防団、水難救済会天城救難所所属船等で捜索を行い、13日0735、那覇航空基地所属機（十一管区）が硫黄島島北方の海域で事故船舶を発見しました。

船舶発見後、巡視船「かいもん」により確認したところ、船上に男性の姿はなく、その後引き続き捜索を行いました。現在も行方不明となっています。

なお、発見された事故船舶は、巡視船「かいもん」及び地元漁船の曳航により松原漁港に戻され、調査の結果、船舶に衝突痕や絡網等の異常はなく、エンジンも正常に動作する状況でした。



自己救命策の確保3つの基本



ライフジャケットの常時着用



連絡手段の確保



118番の活用



奄美海上保安部

古仁屋海上保安署



©JCGF

目指せ、海上保安官！



海上保安官になるためには、「海上保安大学校」または「海上保安学校」の入学試験に合格する必要があります。

海上保安官は、巡視船艇などの海上勤務だけでなく、本庁（霞が関）、管区本部（全国11か所）などでの陸上勤務など、様々な業務を行います。

海上保安官に必要な幅広い知識や技能、特殊な業務を行うための専門的な能力を養成するための教育機関として、幹部職員を育成する「海上保安大学校」と現場第一線の職員を育成する「海上保安学校」において必要な知識、技能を身に付けて現場へ赴任することになります。

海上保安大学校は広島県呉市にあり、本科4年（2学年後半から航海、機関、情報通信に分かれる）、専攻科6ヵ月、研修課3ヶ月の計4年9か月の教育を受けます。

海上保安学校は京都府舞鶴市にあり、一般課程（航海、機関、通信、主計、航空整備）は1年間、管制課程は2年間、航空課程は1年間の学校教育の後約2年間の研修を受けます。

どちらも学校という名が付いていますが、入学と同時に国家公務員となり、毎月約20万の給与が支給されます。

両校ともに全寮制で、規則正しい団体生活を通して、海上保安官に必要な正義・愛の精神を身に付け、リーダーシップ、チームワーク、気力、体力の充実を図っています。



**次のページから「現役海上保安官からのメッセージ」を掲載しています。
受験のための準備など役立つ情報が沢山あるのでぜひご覧ください！**

現役海上保安官からのメッセージ

これから海上保安官を目指す高校生の皆様のために、奄美海上保安部、古仁屋海上保安署で勤務している若手海上保安官からのメッセージです。

- 1 氏名、年齢、出身高校、現職、入庁年月
- 2 海上保安官を目指したきっかけ
- 3 受験のための準備
- 4 学校の思い出など
- 5 これから海上保安官を目指す高校生の皆様へ一言

- 1 柳 遼太 23 歳 鹿児島県立大島高等学校 巡視船あまみ航海士補 R2.10 入庁
- 2 専門学校で全員受験していたから。
- 3 公務員専門学校に通っていたので、学校の受験対策勉強をしていました。
- 4 同期や先輩、後輩との交流が学校の思い出です。
- 5 しっかり勉強して、入庁できればなんとかなるので頑張ってください！

- 1 中島 烈 20 歳 鹿児島県立鹿児島水産高等学校 巡視船あまみ通信士補 R5.4 入庁
- 2 安定した職につきたかったからです。
- 3 半年間、公務員試験対策の講習をリモートで受けました。
- 4 行軍訓練等のきつい訓練をみんなで協力してやり遂げたことと、休日に同期の仲間と外出泊をしたことです。
- 5 決して楽な仕事ではありませんが、続けていられる理由があります。皆さんの入庁を楽しみにしています！

- 1 名嘉 慶 22 歳 沖縄県立名護高等学校 巡視船あまみ主計士補 R6.4 入庁
- 2 公務員志望であり、海上保安官の仕事に興味があったためです。
- 3 基礎をやって、過去問をひたすら解きました。
- 4 全国から沢山の人が集まるので、色々な県の人と友達になれたことです。
- 5 頑張ってください！

- 1 釘本 栞汰 22 歳 宮崎県立日南振徳高等学校 巡視船あまみ航海士補 R5.10 入庁
- 2 潜士になりたいからです。
- 3 専門学校で公務員試験の勉強をしました。
- 4 分隊の友達と遊んだこと、五森祭（保安学校の文化祭）などの学校行事。
- 5 受験勉強頑張ってください！

※分隊とは・・・

保安学校の学生寮は5階建てで、各階に8つの部屋があります。各部屋（10～12 人の共同生活）は一つの班であり、各階の4部屋（1 班～4 班）で1 つグループを形成しており、そのグループを分隊と呼んでいます。

各分隊対抗で様々な訓練や文化祭等での催し物を行なったりします。

- 1 日田 駿 26 歳、熊本学園大学付属高等学校 巡視船あまみ航海士補 R6.4 入庁
- 2 幼少期に抱いた「海上保安庁の潜士になり人命救助を行う」という夢を叶えるべく当庁に入庁しました。
- 3 地元熊本の銀行で働きながら、仕事終わりに 2 時間ほど(6 ヶ月程度)勉強をしました。
- 4 潜士を目指していましたので、毎日ランニング、プールを行い自身の体力向上に励んでいました。同じ目標を持つバディにも出会いました。
- 5 夢や目標を定め、それを叶える為に自分に何が必要で何をすべきかを考えて行動に移して下さい！

- 1 三坂 勇華 24 歳 鹿児島県立曽於高等学校 巡視船あまみ運用司令士補／機関士補 R3.4 入庁
- 2 国民に役に立つ仕事がしたいと思ったからです。
- 3 数的処理、判断推理を主に勉強しました。
公務員の専門学校に通っていたのもあり、勉強は 1 日 6 時間していました。
解くことができない問題は、ひたすら講師に聞いて理解しました。
- 4 勉強、訓練と辛い日々にはなっていた反面、苦労を共にした同期がいたから乗り越えることができたと思います。
- 5 今できることを頑張ってください。一緒に日本の海を守りましょう！

海上保安官はさまざまな経験を積みながら、自分の適性や希望に応じてキャリアアップを図ることができ、あらゆる分野のスペシャリストとして活躍する道があります。



特別警備隊



機動防除隊



機動救難士



特殊救難隊



船舶工務官



武器技術官



南極地域観測隊



国際捜査官



ソマリア周辺海域派遣捜査隊



試験研究官



鑑識官



情報処理官



運用管制官



音楽隊



教育機関教官



海上保安官採用サイト

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>